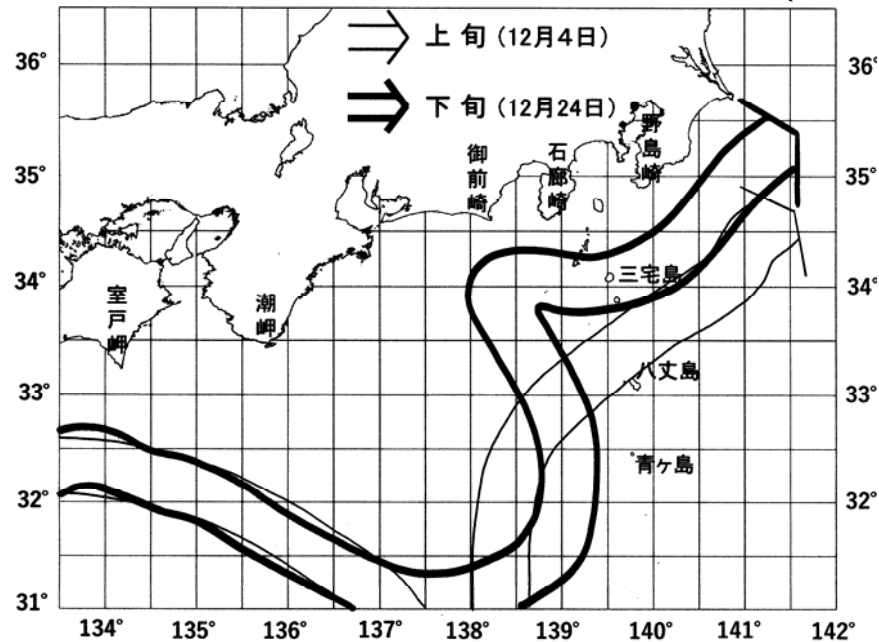


# 漁海況月報

令和元年 12月 1日

No. 12 ~12月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産技術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

12月定地水温の旬平均値( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	19.4	19.5	18.2	18.8	18.8	18.6
	2.0	1.5	0.9	0.9	1.2	1.8
中旬	18.1	18.4	18.2	19.2	18.4	17.6
	1.5	1.3	1.8	2.3	1.8	1.6
下旬	17.2	18.3	17.8	18.7	18.8	17.3
	1.6	2.0	2.1	2.8	3.2	2.4
月	18.2	18.7	18.1	18.9	18.7	17.9
	1.7	1.6	1.6	2.0	2.1	2.0

\* 地頭方の水温観測は終了しました。

## [ 黒潮流路 ]

12月を通じてA型で、上旬は潮岬沖32°Nから南東に進み、30.5°N、138°E付近まで南下した後に、138-139°Eの間を北上し、32.5°N付近から八丈島の北を通って北東に流去した。中旬は潮岬沖32°Nから東南東に進み、31°N、138°E付近まで南下した後に、138-139°Eの間をS字状に北上し、石廊崎沖34°N付近から東に流れ、三宅島付近から北東に流去した。下旬は潮岬沖31.5°N付近から

東南東に進み、31°N、137.5°E付近まで南下した後に、138-139°Eの間をS字状に北上し、石廊崎沖34°N付近から東に流れ、三宅島付近から北東に流去した。

中旬後半~下旬前半には、三宅島西から駿河湾東部、大島西水道に向けて暖水波及がみられた。また、中旬後半~下旬には、御前崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘~熊野灘に向けて内側反流がみられた。

## [ 県下沿岸域 ]

12月上旬は、下田、雲見、沼津「やや高め」、伊東、稲取、焼津「高め」であった。中旬は、稲取「やや高め」、伊東、下田、雲見、沼津、焼津「高め」であった。下旬は、伊東、稲取、下田、焼津「高め」、雲見、沼津「かなり高め」であった。

## [ 竿釣りカツオ ]

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった(前年同月も水揚げなし)。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R元年12月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
R元年12月計	0	0	-	-
H30年12月計	0	0	-	-
H29年12月計	0.4	2	0.2	525

## [ 定置網 ]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は78.1トンで前年の同漁場の水揚量(143トン)の55%であった。また、1か統あたりの水揚量は、11.2トンで前年(20.4トン)の55%、平年(昭和57年~平成30年の平均42.9トン)の26%であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(25.8トン、オアカム口、さば類、スルメイカ)、次いで古網漁場(13.2トン、ふく類、さば類、ブリ)であった。なお、川奈漁場は台風15号による網破損のため12月28日まで休業していたが、29日より操業再開した。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、オアカム口は20.4トンで、前年比886倍、平年比6.4倍であった。さば類は16.8トンで前年比1.4倍、平年比22%であった。水揚げされたさば類のうち、ゴマサバは9.5トン、前年比1.0倍、平年比13%、マサバは7.3トン、前年比2.7倍、平年比2.1倍であった。ふく類は7.0トンで前年比3.2倍、平年比1.5倍であった。スルメイカは6.7トンで前年比82%、平年比20%であった。ブリは5.2トンで前年比2.9倍、平年比1.3倍であった。水揚げされたブリはわかし銘柄主体で、4.2トン、前年比7.2倍、平年比9.4倍と12月の水揚量としては昭和57年以降平成29年に次いで多かった。

多獲された魚種の主な漁場は次頁(表)の通りで、各漁場の水揚量の割合は、オアカム口では北川漁場が87%(17.6トン)、さば類では富戸漁場が25%(4.2トン)、伊豆山漁場が24%(4.0トン)、ふく類では古網漁場が65%(4.6トン)、伊豆山漁場が25%(1.8トン)、スルメイカでは谷津漁場が44%(2.9トン)、北川漁場が25%(1.7トン)、ブリでは伊豆山漁場が52%(2.7トン)、古網漁場が26%(1.4トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
オアカム口	20.4	886	6.41	北川
さば類	16.8	1.39	0.22	富戸、伊豆山
ふく類	7.0	3.18	1.50	古網、伊豆山
スルメイカ	6.7	0.82	0.20	谷津、北川、富戸
ブリ	5.2	2.91	1.33	伊豆山、古網

## 【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網船は、月前半は棒受網で操業し、漁場は三本に形成された。17日晩以降は、たもすくい操業し、漁場は利島に形成された。水揚量はゴマサバ127トン(前年同月66トン)であり、1隻あたり水揚量はゴマサバ7.5トン(前年同月16.4トン)であった。1kgあたり平均単価は130円で前年同月(106円)を上回り、前月(128円)とほぼ同額であった。マサバの水揚げはなかった。

棒受網とたもすくい水揚げされたゴマサバの体長組成はともに尾叉長32cmにモードを持つ単峰形を示した。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R元年12月上旬		43	2	6		7.1		130	三本
中旬		57	4	10		5.7		131	三本、利島
下旬		28	1	1		27.5		128	利島
R元年12月計		127	7	17		7.5		130	三本、利島
H30年12月計		66	2	4		16.4		106	三宅、三本
H29年12月計		55	4	6		9.2		135	銭洲、三本

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

## 【サクラエビ船曳網】

12月の出漁日数は、7日(前年は秋漁の操業なし)、水揚量は32.1トンで1日1か統あたりの平均水揚量は76kgであった。

主な漁場は焼津沖から相良沖に形成された。水揚げされたサクラエビは、体長39mmにモードを持つ1歳エビと、体長32mmにモードをもつ0歳エビであった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	1日1ヶ統あたりの平均水揚量(kg)	漁場
R元年12月上旬	15.0	4	62	焼津沖～相良沖
中旬	17.1	3	95	焼津沖～相良沖
下旬	-	-	-	-
R元年12月計	32.1	7	76	焼津沖～相良沖
H30年12月計	-	-	-	-
H29年12月計	152.0	9	282	焼津・大井川沖
H28年12月計	198.7	9	368	焼津・大井川沖

## 【シラス船曳網】

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が56kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が53kgであった。平均水揚量は55kgと前年同期(127kg)の43.4%、平年同期(過去5か年平均:196kg)の28.1%であった。また、総水揚量は22.1トンで前年同期(94.7トン)の23.3%、平年同期(168.4トン)の13.1%と、前年、平年同期を下回った。平均単価は1,847円/kgと、前年同期(1,356円/kg)の1.4倍、平年同期(972円/kg)の1.9倍と、前年、平年同期ともに上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	0	0	0	-	-
舞阪	1.0	3	16	61	1,397
福田	3.4	4	76	45	1,691
御前崎	3.2	5	50	63	1,072
吉田	8.1	7	133	61	1,584
静岡	6.4	6	126	51	2,712
R元年12月計	22.1	25	401	55	1,847
H30年12月計	94.7	39	747	127	1,356
H29年12月計	75.3	44	742	102	1,847

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年同期:過去5か年(平成26～平成30年)平均値

## 【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、伊東港では230.1トン(前年同月比2.7倍、平年同月比3.5倍)、小川港では0.02トン(前年同月比0.02%、平年同月比0.06%)、静浦港、沼津港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港において水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚げがなかった。

\*平年:過去5か年(平成26～平成30年)平均値

## 【調査船駿河丸の動向】

12月4日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
12月5日	地先定線観測調査	(1日間)
12月10日～12月11日	いわし類卵稚子分布調査	(2日間)
12月16日～12月17日	サクラエビ音響調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

3月からホームページのアドレスが変わりました。

httpと://fish-expの間にsが追加され、https://fish-expになります。

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と

関東・東海海況速報を見ることができます。

